

会長 阿部信一
TEL 025-273-1572

事務局 井村健一
新潟市北区すみれ野2-10-12
TEL 025-259-7152

会報・編集委員会代表
浅野亘寛
長岡市金町2-2-17
TEL 0258-52-3998

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

正月山行 厳冬の飯豊へ！

渡辺 康博 (新潟山岳会)

2011年12月30日～2012年1月2日

ここ数年、新潟山岳会は西俣尾根から飯豊の稜線を目指して冬合宿を行っている。

11月に枯松峰に食料や燃料、アルコールをデポし本番に備える。過去2年、このデポ地点で引き返している。原因はボンボンと降り続ける日本海の重い雪。あつという間にテントは雪に囲まれる。夜中でも2時間おきに除雪をしなくてはならない。テントの周りを一周除雪し終わると、せっかく除雪したスペースがすぐ雪に埋まってしまふ。また雪がいやらしい。富士山やアルプスや八ヶ岳のようなサラサラの雪ではない。すぐに溶けて水になる。水は衣服を濡らし体温を容赦なく奪う。雪と戦い水と戦い、眠らせてくれない夜。休養にならない夜。体力を奪う夜との戦いが厳冬の飯豊だ。

12月30日、奥川入から西俣に

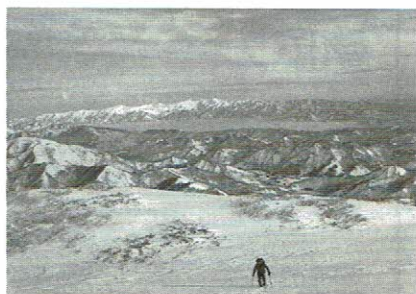


猛烈なラッセル

向かった。稜線を目指すのは僕、渡辺康博と白倉穂高。一泊のサポーターが6名。計8名で出発。天気は吹雪。最悪だ。情報では下越山岳会が数時間先に入っているはずだが、せっかくのトレースは強風に飛ばされて役に立たない。深い深いラッセルだ。ラッセルはチームブレイ。先頭がザックを置いて空身でドンドンとラッセルをする。疲れたら次、疲れたら次、と順番にトレースを伸ばしてい

く。それにしても雪が深い。なかなか進まない。西俣峰直前の急登を登りきると、下越山岳会のみなさんが雪のブロックを積んでテントの風除けを作っている。田中さんが単独で上を目指し、サポーターメンパーは当日下山するそう。僕らはどうする？ 時間は14時くらい。僕と穂高さんは、まだ、少しでも先に進みたい。が、しかしものすごい暴風雪だ。メンパーにも疲労が見える。そこから20分ほど進んだ場所をテントとする。地ならしをしテントを張る。ろくに風除けも作らずテントに潜り込む。ともかくにも温まらなくてはならない。着るものを全て着て、あとは腹の中から温める。楽しい宴会だ。デポ地点までたどり着けなかったが、サポーター隊が担ぎあげてくれたご馳走をいっぱい食べる。飲む。風がものすごい。ポールが折れはしないか心配だ。夜中の除雪作業を覚悟してシユラフに潜りこんだ。が、予想外に強風のおかげか雪がたまらない。よって夜中の除雪をしなくて済んだ。結果的に体力を温存する事が出来た。

12月31日 サポーター隊とお別れだ。僕らは時間がいっぱいあるからのんびりと支度をしておのんびりと出発する。ほどなく先に行っていた下越山岳会の田中さんに追いつく。少し一緒に歩いたが、すごいパワーだ。僕ら二人の他にも稜線を目指している人がいるというのは心強い。2時間も歩かないうちに枯松峰に着。木の上に縛っておいたデポの箱がほんの少しだけ雪から顔をだしていた。もし、あと一日遅かったらデポが見つからなかっただろう。現に田中さんの記録を見てもデポを探しだすのが大変だったようだし、31日に奥川入から入ったパーティーもデポが見つからずに即日下山したと聞く。



ひたすら稜線をめざして

僕らは運が良かった。デポを回収すると、時間はたっぷりある。稜線を見渡せる斜面に雪洞を掘った。そして雪洞の中にテントを張った。風と雪を完全にシャットアウトする作戦だ。テントの中では穂高さんのガソリンストーブが心強い。デポの食料とウイスキー。オジサン二人で過ごす味気ない大晦日の夜だ。濡れた衣服は冷たい。衣類を乾かし乾かし、湯たんぽを抱きしめながら、寒い寒い夜を超えた。それでも、「テントin雪洞作戦」で除雪の心配もなく眠れた。



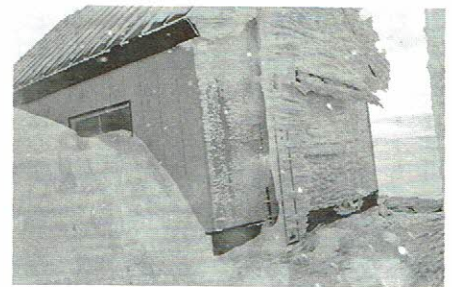
エブリサシ、鋒立峰がみえてきた

1月1日 快晴だ。行ける！ 降りつづけた雪は夜半から晴れた。昨日降った雪は深い。深いがこの天気なら行ける。絶景だ。待ってろよ飯豊の稜線。と新春のモリモリの大キジを打ちながらやる気満々。穂高さんと二人、深い深いラッセルを続ける。大ドミに田中さんのテントがある。早々に出発して先行しているのだらう。トレースは吹き飛んではいるが先行者がいると言うことは心強い。森林限界を過ぎると風が強い。振り返ると左に鋒立峰からエブリサシへの稜線、正面に朝日連峰、蔵王、吾妻の山々。絶景だ。この1月1日にどれだけの人が東北の峰々の稜線に立っているのだらう？ さあ、頼母木山はもうすぐだ。天気はよいが、下山時にガスられてはたまらないので、慎重にペナントを刺す。風は強い。立ってられないほどの強風の中、よろよろと頼母木山に登頂成功！ 3年越しの飯豊の稜線に立てた。強風で痛い。指先も千切れそう。千切れそうな指先でワカン、ストックからアイゼン、ピッケルに替えた。さあ、一刻も早く下山したい僕と、もったいない穂高さん。とりあえず頼母木小屋をめざす。強風、息ができない。視界は良好なので道迷いの不安は心配ないが、ほんの目の前の頼母木小屋が遠い。ハイマツ帯に入って足を取られたりでなかなか進まない。やっと頼母木小屋に到着するが、もちろん入口も階段も氷っている。かち割ってこじ開ける気力もない。よし、ここまでよくやったよ俺達。午後から天候は荒れる予報だしと、下山を決めた。下山を決めたら早い。テンバには昼過ぎに到着。まだ天気は良い。気持ち良い凜とした冬山だ。寝袋や衣類を木に結んで乾かす。さあ、後は飲むしかない。3年越しの目標を達した喜びに乾杯した。

1月2日 吹雪だ。予報通りに午後から天候は崩れまだまだ気を抜けない下山だ。できる限りの物は担いで降りる事にし、どうしても担げないものを再度デポした。連日のラッセルだ。雪庇を踏みぬかないようになるべく安全なコースをとり、ぐんぐんと降りる。温かい温泉、うまい飯、ぐんぐん降りる。サポート隊が残してくれたペナントのおかげでルートファイティングに手間取ることもなく深いラッセルも下山であれば楽しみながケンケン降る。テンバからわずか2時間で奥川入山荘に到着。風呂の窓からはどんよりとした雲の中、飯豊の裾野が見えるだけ。30日、2日の間で晴れたのは31日の夜から1日の昼まで、後はずっと猛吹雪。運よく、そのワンチャンスをつかめて稜線に立てた。

パートナーの穂高さん。サポートのみんな。デポを上げてくれたみんな。行動は一緒ではなかったが心の支えになった下越山岳会の田中さん。下界で心配してくれたみんな。ありがとうございませう。

※登頂完了後は、すぐに「一応飯豊の稜線に立てたし、この冬はどこに行く？」そんな話ばかりをしています。



凍てついた頼母木小屋

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス



ICI 石井スポーツ
新潟店

新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134
営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm

下越山岳会スノーシュー体験会

佐久間雅義（下越山岳会）

2月19日（日） 組倉の林

道にて2年ぶりのスノーシュー体験会を開催致しました。狙いはずばり新人獲得です。当会も高齢化が進んでおり数年前から会の中に執行部とは別に、新人発掘担当を決めて活動をしてまいりました。このスノーシュー体験会もその一助になっております。その他は、新発田市の広報に載せてもらうこと。季刊下越山岳会報の発行による広報募集、会の名刺を常に持ち歩いている勧誘、会のポスター掲示等を



スノーシュー体験

実施してまいりました。もちろん当会のホームページも10年以上維持してきております。それでも中々高齢化を防止するには厳しいものがあります。さて日程の2月19日は広報の関係上、昨年の間に決めて担当が市報に載せる段取りをしてスタートをしていきます。当日は、厳寒の朝で小雪が舞っていました。御集りいただいたメンバーは、会員の勤務先の御友達3名、当会の担当の御友人2名、2年前参加の方とそのお友達、個別参加の2名で合計9名でした。年齢は25歳から63歳で、平均40歳だと思われまます。御世話する当会のメンバーは11名です。8・00五十公野公園駐車場に集合して、乗り合わせて赤谷の奥まで進みました。スノーシューは、会員の物を貸与して会員は昔のワカンを着用です。参加メンバーの中には、ノルデックウオーキン

グのインストラクターの方もおられました。当日は多量の降雪の後で、スノーシューを履いても、30・40cmもぐる状況でした。組倉のいつも県山協の冬山講習会を行う地点で一休みして、林道に踏み込みます。杉林は落雪で堅くなっているので歩くには楽ですが、広い場所はもぐります。先頭を交替しつつ昼飯予定地点へ10・30に到着です。数日前の14日にサンデー毎日会員数名を中心にルート設定をしておきました。そのルートを逆に辿り一応急斜面を登ってちょっと山登りの感触を味わっていたいただきました。その下山は思い思いの新雪を踏みしめて好きなルートを歩いて林道へ出て一服です。ここらあたりが一番快感を覚えられたようです。小雪もありましたが、ときどき青空も出て爽やかな空気を味わえました。食事、設営担当者は休憩もそこそこ林道を先ほどの昼飯予定地点へ戻ります。残りは担当から雪崩の基礎である雪質の調査の仕方の講習を受けました。皆さん初めての事で興味深々でした。



参加者集合！

林道を下って設営地点に来ると、雪のテーブルが用意され、トン汁鍋が待っていました。風除けのフライを数枚張りさて楽しい食事です。（写真）大きな行事はこれで終了です。後は来たルートを各自思い思いの新雪を踏みしめて帰路につきました。14・30駐車場所に到着です。最後の担当及び私から、下越山岳会の小集会（月2回）に参加頂きますようお願いして、閉幕となりました。後は再度参加の皆様とお会いできるチャンスがあることを期待しております。新人発掘に妙案はありません。地道にあちこち手を回しながら、こまめにやることと思っております。どなたか良いアイデアがございましたら、ご教授を頂ければ幸いです。



雪のテーブルで豪華に



魚沼の酒

www.hakkaisan.co.jp

八海醸造株式会社 新潟県南魚沼市長森1051番地 お客様相談室 025-775-3866

好評！新潟県山岳協会自然保護委員会山岳写真展

県山協自然保護委員会主管の山岳写真展が開催されている。山岳協会加盟の会員が日頃の山行でレンズを通して四季の山々を見つめ、接した力作です。日本の山岳の素晴らしさと大自然の豊かさが感じられる写真展です。山岳写真を通じて自然保護と遭難防止など命の大切さをうたっている写真展です。来場をお待ちしています。新潟フジフィルム「アウラ」を皮切りに5月末まで高田郵便局で開催中。その後新潟ふるさと村で展示予定です。

開催中 新潟フジカラー アウラ 3月1日～3月14日

今後開催予定 関川村 歴史資料館 4月1日～4月26日

高田郵便局 5月1日～5月31日

新潟ふるさと村～(写真展と飯豊連峰保全活動資料展示予定) 期日未定

主催 新潟県山岳協会

連絡・問い合わせ 本間一人(自然保護委員長) TEL025-385-2225



写真展会場の模様

お知らせ

新潟県協会会長・役員・加盟団体代表者へメール配信の通り新潟県山岳協会の銀行口座である「第四銀行長岡市役所前支店」の店名が平成24年4月16日以降「第四銀行長岡南支店」となります。(口座番号は変更なし「店名425、口座番号1179492」)となりますのでお知らせいたします。

県山協事務局 井村 健一

協会加盟団体・役員へのメール配信一覧 2/11～3/10

配信日	内 容	送信元	取扱い・委員会
2/18	平成23年度2月日山協競技常任委員会	日 山 協 競 技	県山協事務局
2/19	スポーツ安全保険について	日 山 協 事 務 局	県山協事務局
2/24	第四銀行支店名変更	県 山 協 事 務 局	県山協事務局
3/4	二王子残雪情報	下 越 山 岳 会	県山協事務局
3/5	日本スポーツグランプリ推薦について	日 本 体 育 協 会	県山協事務局
3/5	日本スポーツグランプリ顕彰規定等	日 本 体 育 協 会	県山協事務局
3/6	富山岳連からの案内(富山岳連競技)	富 山 岳 連	県山協事務局
3/7	3/31開催の第4回理事会について	県 山 協 事 務 局	県山協事務局

事務局・井村健一 (025-259-7152) ※メール内容の問い合わせは取扱・委員会、事務局でご確認下さい。

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第559号・IATA代理店(社)日本旅行業協会会員
本社：新潟県長岡市幸町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

- ☐長岡営業所 〒940-0094 長岡市幸町1丁目3番5号 ☎(0258)33-7123
☐新潟営業所 〒950-0010 新潟市中央区2番11号 ☎(025)246-2266

登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200・FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30～PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>